

ぐんまの建具・木製品展示会

群馬県産の木製品を通じ
建具職人の技術を伝える

群馬県建具組合連合会（大澤直也会長）と群馬県工業振興課は2月6日から8日までの3日間、東京都中

央区銀座にある群馬県の特産品を扱うアンテナショップ「ぐんまちゃん家」にて「ぐんまの建具・木製品展

示会」を開催した。

この展示会は建具職人の持つ木工の技術を活かした建具と木製品を広く一般に伝え、広めながら需要の拡大に結び付けることを目的としており、2010年から毎年2月に開催。今回で5回目を数える。展示会は群馬県の全面的な協力を受けて開催されており、会場費や木工の体験コーナーで使う材料の費用などは県の補助によってまかなわれている。

今回の展示には(有)伊藤産業、大澤木工(有)、(有)武井木工、(有)五十嵐木工、森川工業(株)、小島建具店の6社が出品。会場では群馬の県産材を使った木製品が展示されたほか、組子のコースターと箸づくりが無料で体験できるコーナーも設けられた。

間近で職人の技に触れる
無料体験コーナー

会場で最も目を引くのが中央に2カ所設けられた無料体験コーナー。ここでは用意された材料を来場者自ら加工し、箸やコースターに仕上げる。体験コーナーでは出展企業の建具職人が鉋のひき方や組子の組み方を持ち回りで指導し、職人の技術を身近に感じてもらい、製品の成り立ちを知ってもらうのがねらいだ。

大澤会長によると毎年、評判は上々とのこと。中には組む時間が無いので、材料だけでも欲しいという来場者もいるのだという。取材当日も展示会オープンから30分も経たない間に体験コーナーには人だかりができ、各々が道具を手に木製品づくりを楽しんでいた。



地スギの端材や間伐材を使ったミニ障子衝立



箸づくりの体験コーナーでは鉋のひき方から教えてもらえる



組子細工のコースターづくりも体験できる